

旧宍戸城表門(県指定有形文化財) (笠間市土師622)

案内図



格式ある長屋門

「旧宍戸城表門」は、二代水戸藩主徳川光圀の弟の松平頼雄が一万石を与えられて立藩した宍戸藩の陣屋表門として、江戸時代天保期に造られたとされています。入母屋造の長屋門で、県内の城郭関係の門の中では、唯一の長屋門形式の遺構例です。

明治維新による廃藩置県の折、平町から土師の塩畑家に移築され、昭和51年に県の文化財に指定されました。昭和61年に修復され、現在の姿を保っています。

平町の旧陣屋跡は、土塁の一部を残すのみとなっていて、水戸家の[※]御連枝として小藩ながら格式があった宍戸藩を偲ぶことができる貴重な門です。

※御連枝：御三家より分家、立藩した大名。

◆問合せ 生涯学習課(内線72231)

人口と世帯数 11.1 現在

●人	口	81,033 人
	男	39,730 人
	女	41,303 人
●世帯数		27,174 世帯

○広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。問合せは秘書課(内線225)まで。

